

令和元年度富士市 P T A 副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会 場	吉原第一中学校	参加者数	17 名
部会名	副会長の部（小 A）		助言者	望月 光明（吉原小）	
司会者	土屋 善靖（吉原小）		記録者	田中 誠（須津小）	
テーマ 役員または会長の選出方法 活動への積極的な参加を促す方法					
会議概要					
主に役員や会長への選出方法がメインで話が進行致しました。					
ほぼ同じような形式で行われ保護者の方々が立候補や一本釣り輪番制と似たような状況でした。					
基本的に自分からやりたいという方からの立候補制に関しては皆無で嫌々やるのが現状の様子。					
輪番制に対しても地区による保護者の人数による亀裂や負担が平等でないこともあり					
不満や仕事量が多いなど意見がまとまらずいずれも上手く選出出来てないのが現状です。					
それに対して吉原小学校の司会者または助言者の 2 名の発言に驚愕していました。					
内容的に吉原小学校また吉原第一中学校ではそのような選出方法は一切なく					
知り合いからの提案から率先的に活動にご協力頂き人数制限もなくむしろ人数は多く					
役員が足りない状況がないとのことでした。PTA としての活動に対しての懸念もなく					
率先して活動に参加頂ける為不満もなく良い雰囲気での活動が出来ているのが					
他校と一番違う部分であり関心が寄せられる現状でした。					
ご参加頂いた 13 校の話し合いの中で率先して会長、または副会長になった方はあまりおらず					
選出されるための事前準備等も乏しいところがある様子でした。					
1 年目で会長に選出されるところもあれば会長に就任するために会長補佐の役があったり各部での					
部長の選出も下積みがあつてなるところもあればいきなり部長になる学校もありました。					
ただ下積みをしようとしたときにはどうしても 2, 3 年の任期になってしまい長く役員として携わる					
ことになるためどうしてもそこで不満が漏れたり亀裂が起こったりやりたがる人が減る傾向があるよう					
です。実際活動を行った上で意見を聞けばやってよかったとか活動の内容を把握した上でこんなことを					
やっていたんだと改めて PTA の活動について理解が深まり率先して活動に望めた声もありました。					

やはり一番最初に考えた時に保護者の方が何に対して活動を望むのか。
何を優先して行動を起こしていくのかという理念が一番重要なところだと思います。
嫌々やるというところから子供たちのために活動していこうとする保護者の考え方がありました。
何を目的としているのか。大切にしていくな重要な考え方で動いている保護者がいるところや
子供の為に出来ることをしたいと考えている保護者が多くいる学校では上手く活動出来ている印象が
ありました。何より保護者の方の中で活動内容が不透明であることが大きいところだということです。
任期によるかもしれませんが、何をしているか何のために会費を払っているのか、その会費はどのよう
なかたちで使用されているかなど理解が浅い部分があるのが現状のようです。
実際活動している方たちからすると始めて耳にする内容もありながら改めて活動内容に気づかされたり
するので大変なことばかりがイメージで定着しているのでそこを払拭出来たらよりよく参加してもら
えたり役員に対しても積極的になるのではないかと思います。
一方でこんな意見もございました。
せっかくこのように他校の会長や副会長、役員の方が集まるので子供たちのためにどのような活動を
各の学校で行われているのか綿密に話し合いがしたかったと意見がございました。
例年このような話題があがり選出方法等が話し合われることが多いとのことで、大人の嫌々な意見交換
より各学校で活動している中で子供たちが何をしたら喜んで参加してくれるのか、どのような活動に重き
をおいて予定を組んでいるのか話したいとのことでした。
これについては他校の方も息を呑むかたちで話し合いの場は終わりました。
例年行われる行事でありながらテーマが毎年同じにも疑問を持つ方もいらっしゃるようです。
確かにこのような機会は珍しく貴重な意見交換を出来る場なのでテーマが子供たちに向けた物に変わり
活動をお互いの学校で意見交換しながら持ち帰ったあとで PTA の活動について見直したり改善したりと
自分の学校に役立てたい意見もございました。
多少保護者の愚痴になってしまっている現状でしたので実のある話し合いの場にしたい方もいたの
で記録させて頂きました。
今回の話し合いではこのような内容でしたのでご確認よろしくおねがいたします。以上になります。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	16 名
部会名	副会長の部（小 B）		助言者	村松 尚子（大淵二小）	
司会者	大石 啓太（大淵二小）		記録者	石川 潤（大淵一小）	
テーマ 役員選出について 子供の安全について 子ども会と PTA の関わり					
会議概要					
1 役員選出について					
どこの学校も毎年、役員決めには苦勞している。 輪番制、立候補、勧誘、推薦など各学校様々であるが、くじ引きなどで選出されているところと、いわゆる一本吊りのところでは、モチベーションの高さに温度差があうように感じた。 輪番制のところでは、町内ごとに役員を選出しているところが多いが、町内の人数に差があり不公平になっているが、なかなか持ち回りの人数を変える事ができない学校があった。 一本吊りのところも、近年なかなか引き受けてくれる方が少なくなってきていて、来年度から一部輪番制の導入を検討しているが、その決め方が決まらず、苦勞されているようだった。					
2 子どもの安全について					
近年、子どもが巻き込まれてしまう事件・事故が多く報道され参加された皆さんは関心があるようでした。 どの学校も基本的に歩いての登下校だが、学校から遠い方は車で送り迎えしている。また雨の日などは多くの方が車を利用している。その時の送迎場所が学校にないところは、まちづくりセンターを利用して頂いている。 PTA 活動では旗振り活動を実施している学校が多く、また集団登校をしている学校もあった。 地域の方が通学路に立って頂いている見守り隊、かけこみ 1 0 0 当番など子どもの安全を確保するには、多くの方の協力が必要だと感じた。					

3 子ども会と PTA の関わり

全ての学校で子ども会があるが、加入率が 50 % のところもあった。

子ども会と PTA が一緒になっているところがあり、PTA の役員になってしまうと子ども会も辞めてしまう方もいる。

子ども会・PTA 役員と多くの役員があるので PTA の組織の入れたらどうか？との意見もあった。

まとめ

どの学校も役員選出には苦勞されているみたいだが、これからますます児童が減っていくので部の統合・活動内容など変化して行かなければならないかもしれない。

しかし、PTA は子供達の為の活動であるには間違いないので、多くの方に参加していただき、楽しんで活動できる組織になればと思う。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場		吉原第一中学校		参加者数		1 5 名	
部会名		副会長の部（中）			助言者		山田 雅彦（富士南中）		
司会者		松村 岳典（富士南中）			記録者		小林 祥二（吉原北中）		
テーマ ○任意参加制での PTA のあり方 ○PTA 行事として一番盛り上がる行事は？									
会議概要 ＜任意参加制での PTA のあり方＞（PTA 役員の決め方） （会長・副会長） ・一本釣り（学校や職場での先輩・後輩の関係でお願いするが、声掛けには限界があり、将来不安との意見もあり） ・くじ引き（話し合いでは決まらないためだが、離脱する人や参加しない人もいる。また出席出来なかった人に押し付けているのでは？との意見もあり） （各役員選出方法） 各地区での輪番制でくじ引きやじゃんけんで決める学校がほとんどで、中には数年先まで決まっている学校もあり。地区ごとに偏りがあり、参加しない人もいる。 ＜PTA 行事として一番盛り上がる行事は？＞ ・球技大会 ・運動会での PTA の出し物 ・ファミリーバドミントン大会 ・インディアカ大会 ・講演会 ・校内おばけやしき ・修学旅行の見送り ＜総括＞ ・役員選出については、各校様々な苦勞をされており、一本釣りにも、くじ引きにもそれぞれメリットデメリットがあり解決策が見つからないのが現状です。助言者の山田雅彦校長先生からは、PTA は学校側からしても大切な相談相手であり、保護者の意見が聞ける貴重な存在であるとの意見を頂きました。将来の PTA 活動のためには、誰もが参加しやすい PTA となるような改革や保護者としての自覚と責任をもつことが大切だと実感しました。 ・PTA 行事として一番盛り上がる行事では、球技大会の学校がもっとも多く、スポーツを通じて親睦を深めているようでした。									

令和元年度富士市P T A副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	15 名
部会名	成人教育部（小A）		助言者	田中 尚志（神戸小）	
司会者	渡邊 壮人（神戸小）		記録者	前島 大介（富士二小）	
テーマ P T A新聞、三校合同事業について					
会議概要					
①参加者が持参した P T A新聞を全員で見て、各校の特色を知る時間を設けた。					
参加者全員に、「㊤各校の P T A新聞の特徴 ㊤参加者へ聞いてみたいこと」を順番に発言。					
【 P T A新聞について】					
㊤発行回数：年 2 回の学校が多い。中には年 4 回の学校あり。発行回数を減らしていく傾向にある。					
㊤掲載内容：P T A役員紹介、学校行事や P T A活動報告、年度末には 6 年生特集（6 年時の行事特集や、6 年間で振り返る内容）。各校とも、写真をたくさん使っている。					
㊤編集作業：文章作成等は部にて行い、印刷業者へ持ち込み→校正→確認→印刷している学校が多い。					
問題点（写真撮影について）					
①掲載 NG 児童への対応が難しくなっている。今後新聞の内容を変えていくことも考えなくてはならない。					
助言者より：年度初めに、保護者に個人情報取り扱いの承諾を得て、気を付けることが必要。					
校内配布・地域配布・富士ニュース等新聞への掲載など、パターンが異なる場合は、					
学校を通じて NG 家庭に個別に確認してみては。					
②写真のデータ管理について。部の備品カメラのみで撮影し、学校の PC 教室にて編集作業をし、					
部長がデータを一括管理し 1 年間保存してから処分している学校ある。大半の学校は部員個人の					
スマホで撮影をし、メールや LINE 等を利用し写真データのやり取りをしている。データ管理の注					
意は口頭のみ、もしくはあまり気にしていなかったという学校もあり。					
司会者より：データ保管は期限を決めて管理し、処分することが望ましい。					
㊤新聞に子どもたちが書いた記事を載せている学校はありますか？					

→6年生全員が「夢・中学校へ向けて」の文章を掲載。編集が大変だが、保護者が楽しみにしている
ので、やめられない。
→先生に選んでもらい、運動会のことなどを載せている。
⑧新聞の内容に保護者の意見を取り入れていますか？
→部長、副部長で決めているが、例年ほぼ同じ内容。
【三校合同事業について】
⑧三校合同事業の講師等はどうやって選定していますか？どんなことをやりますか？
→南小は来年科学教室をやりたいので、吉原工業高校へ依頼中。予算的に心配。
→丘小サイエンスを単Pで実施。地域に在住の大学教授にお願いしている。すごい人気。インターネットで検索すると、PTAでできる実験もある。
→田子中で「みんなの学校」映画上映。去年は田子小主催で田子地区在住の美術家先生にお願いし、
段ボール迷路を実施。2～3時間かかったが、子どもたちは大喜びだった。
→富士二小は今年、ダンス（J-POP、ヨガ、ボクササイズなど）を実施予定。講師はホリデイスポー
クラブより派遣してもらう。
助言者より：高校等は部活の発表の場を求めている。依頼すればマッチングするのではないか。
【その他】
⑧バザーを実施しているが、値付けはどうやっていますか？
→部員、子ども会役員さんが前日に値付けする。値段は個人にお任せ。売れ残ったものは処分。
売れ残りを次年度に持ち越すと、出品者が気を悪くする可能性あり
まとめ
PTA 新聞に関しては、内容や校正をどこまで部内でやっているかに関心が高かった。印刷業者（プロ）
に校正～印刷までを頼んでいる学校が多かった。また、写真掲載 NG 児童への配慮、写真データの管理
・保管期間も含め、決まりを設ける必要がある。
三校合同事業については、各校テーマ（講師決め）に毎年苦慮している。今後、各校が実施した評判
の良かったプログラムの情報交換ができれば、役員の負担も減り、完成度の高い事業を行えるのではな
いか。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	14 名
部会名	成人教育部（小 B）		助言者	鳥居 朝野（富士川二小）	
司会者	中村 大助（富士川二小）		記録者	高岸 正則（今泉小）	
テーマ 今だからこそ、成人教育部の新たな存在意義					
会議概要					
① 各校の自己紹介。最近、感動した内容を各自お話しいただく。					
② 各校から順番に悩みを報告いただき、議論を深める。					
③ 途中休憩中に、各校の PTA 新聞を閲覧。					
＜議論内容＞					
① 「PTA のつどい」で掲示するかべ新聞について。					
・各校紹介がかべ新聞を作る目的であることは理解できるが、					
年々競争を目的としているかのように変化してきており、疑問を感じる。					
・毎年、作成上のルールがあるようだが、学校によってそのルールが作成者にまで					
情報伝達させていない。紙面を活用して、しっかりルールを周知徹底すべき。					
・かべ新聞の作成が大きな負担となっていると発言した方もいた。					
・かべ新聞の存続是非を聞いたところ、存続すべきが 7 名、辞めたいが 7 名だった。					
② PTA 新聞について。					
・作成を外部委託している学校もあった。					
・PTA 新聞を紙面に拘らず、メール配信や HP 掲載などに変更してもよいのでは、との意見も。					
・新聞を作成する上で、写真など学校から NG 項目が多い学校もあった。					
・発行回数は 2 回か 3 回。					
・予算は部数によって変動するが、6 万～20 万円程度。					

・学校によって PTA 会員数は異なるが、役員・部員が少ない、人手が足りない、

部長の負担が大きい、との意見が多かった。PTA 役員内、または部内での役割分担が

うまくできていないことが悩みとの声も多かった。

・PTA 役員のなり手が集まらない今だからこそ、PTA の活動内容、良さについて新聞等を

活用して、広くひろめていくことこそ、これからの成人教育部として必要なことでは

ないか、存在意義ではないか、とのまとめとなった。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校		参加者数	19 名
部会名	成人教育部（中）		助言者	山本 真人（須津中）		
司会者	高木 由香（須津中）		記録者	中村 まり子（岳陽中）		
テーマ P T A新聞・合同行事について						
会議概要						
<P T A新聞について> 各学校で作成したP T A新聞を参照しながら発表						
・部員の振り分けは、どの様におこなっているか。						
・部員さんの担当は、多くが学校行事の写真撮影、中には自分の学年のレイアウトをお願いしている学校もある。						
・学校の規模によって費用が大きく変わる為、ほとんどが業者に依頼で印刷だが、 自校で作成～印刷まで行う学校もある。その場合部長の負担がかなりの重荷になってしまう。						
・P T A新聞なので学校行事ではなくP T A活動を載せることを意識している。						
・新聞発行は多くが2回、次に3回、1回の学校もあり。						
・経費を抑える為に印刷業者を考えている学校があり、自分たちの関わっている業者やネットの 発注などアドバイスや意見が出ました。						
<合同事業について>						
・毎年 講師は何を参考にしているのか。						
・学校によっては、P T A活動のメインになるので費用がしっかり枠取りされている。						
・合同行事は保護者だけではなく子供たちの参加もできる内容になっている。						
・参加人数を増やすのに苦労している。						
<その他>						
・問題点では部員さんが毎年入れ替わるので難しい事はお願いできない。						

<山本校長からの助言>

- ・色々な紹介がある中で、どこの学校でも問題になっているスマホの『富士市のルール』を載せる事はいいと思う。
- ・写真などは学校から提供してもらってもいいと思う。

以上

令和元年度富士市 P T A 副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	16 名
部会名	体育保健部（小 A）		助言者	石原 克己（広見小）	
司会者	田中 博道（広見小）		記録者	下田 良秀（富士見台小）	
テーマ ①運動会について ②体育保健部のイベントについて ③役員選出について					
会議概要					
①運動会について場所取りの問題や応援ルールについて					
禁止の学校や、時間制限をつけて許可する学校、ターフやテントは禁止で場所取りのみ可、テントは PTA と町内の協力で建てるなどの学校があった。違反者に対しては、パトロールをすることや、テントや場所取り禁止部分に白線を引いて場所取りを制限するなどの実施例や成功例を話し合った。					
体育館の開放についても学校毎に違いがあり、しないところや時間を決めて開放するところがあった。					
その他では参観者の違法駐車が問題になっている学校があり、パトロールや、違法駐車禁止の張り紙を子どもたちに書いてもらって貼ると効果があるなどの違法駐車減の成功例を話し合った。					
今後の課題としては、温暖化による子どもたちや参観者の熱中症対策、地域との連携をどうするか、各種ルールに対する違反者の対策等が話合われた。					
②体育保健部のイベントについて					
各地域独自のイベントを開催している地区についてどんな催しをしているか話し合われた。					
親子インディアカ、ファミリーバトミントン、親子料理教室、ドッジビー、キンボール、親のみのソフトバレーボールを実施している。低学年や親子で参加できるよう工夫をしたり、PTA の親同士の親睦を図ったりするなど各 PTA での活動ついて話し合われた。先生方と一緒に参加いただくには、平日開催をして欲しいとの先生からの要望もあったことの報告があった。					
③役員選出について					
各 PTA でも役員のなり手がないことが問題となっており、くじ引き、立候補、一本釣りや、					

パパの会を作ってわきあいあいと PTA 活動以外でも楽しくやることなどの工夫をしている所もあった。
今後はくじがあたってもやらない人、地区により PTA もやらないという人が出てきていることや、学校
により男性だけや女性だけに偏っていることの改善が必要などのことが話し合われた。

以上

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	17 名
部会名	体育保健部（小 B）		助言者	原田 和久（吉永二小）	
司会者	鈴木 梨絵（吉永二小）		記録者	島崎 裕二（岩松北小）	
テーマ ① 球技大会について ② 運動会について ③ 応急救護等の位置付け					
会議概要					
① 球技大会について～各学校はどのように行っているのか。					
・保護者と先生のみ（吉原小、伝法小、吉一中）三校合同ソフトバレー大会。終了後懇親会実施。 ・元吉小、元吉中の合同フリースロー大会。 ・人数が少ない為、地域の方々と一緒に行く。ソフトバレーのボールを使い、ドッジボールを行う（ボールが当たった時の危険回避） ・ボッチャ（パラリンピック競技にもなっていて、ルールが簡単でだれでもできる） ・保護者、先生、子供達の合同チームで、ドッチビー。最後は、先生 VS 子供達。結構盛り上がる。					
まとめ					
・保護者と先生のみで行っている学校が多い。 ・PTA 役員の勧誘の場にもなる。					
② 運動会について～マナー向上や暑さ対策など。					
・学校により、開催時期が違う（6 月、10 月） ・路上駐車、無断駐車への役員での取締り強化。 ・周辺施設等の駐車場を借りる。 ・シルバー人材へ依頼し、見回りをお願いする（有料） ・暑さ対策として、生徒たちの分もテントを張る。但し、学校の規模（生徒数）によっては難しい。 ・保護者の応援用のタープを許可している。タープ等の運搬については、ドライブスルーのような感じで、車を出来るだけ駐車させない。 ・保護者の場所取り問題。前日に敷いたシートが無くなっていると、PTA に苦情がきた。					

- ・喫煙場所の問題。各学校、正門前など1～2ヶ所設置したり、カラーコーンで完全に区切る。
- ・校外に設置するのはいいが、近隣の住宅より苦情が出た。（風向きや喫煙者多）
- ・地域によっては周辺が畑の為、あまり苦情はない。

まとめ

- ・ 駐車場や場所取りについては、いろいろ対策はしているが、一部の保護者がルールを守れない。
- ・ 喫煙は個人の自由だが、運動会は子供達が主役であり、嫌な思いをさせてはいけない。その時間だけは我慢してもらいたい。
- ・ 子供達に、駐車禁止や禁煙のポスターなど画いてもらおうと効果がある。

③ 応急救護講習会について

- ・ 2～3 時間程度の講習。
- ・ プール開始の時期に合わせ実施。
- ・ 昭和自動車学校に依頼している。（富士市では最低参加人数が決まっている）
- ・ 毎回同じ人が参加している。（一度の参加では忘れてしまう）
- ・ 参加人数が少ない為、実施の必要性はあるのか。
- ・ 校内 AED 設置場所の確認も必要。
- ・ 先生方は定期的に講習を受けている。

まとめ

- ・誰もがいつ、どこで遭遇するかもしれない事故や病気による出来事に「あの時自分に何かできていたら」と後悔しないためにも、応急処置や救命処置について少しでも学んでおいたほうがいい。
- ・これからの時期、水難事故が増えてくる。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	1 9 名
部会名	体育保健部（中）		助言者	稲垣 浩人（田子浦中）	
司会者	加藤 衣織（吉原二中）		記録者	小笠原 長純（大淵中）	
テーマ					
1 親睦球技大会の参加者募集方法等について					
2 役員の引継ぎ（申送り）について					
会議概要					
【各校自己紹介・実施事業の概要】					
各校とも主に以下の三事業（※学校ごとに実施事業数・内容は異なる）を実施している					
① 親睦球技大会（ソフトバレー、キンボール、インディアカ、ファミリーバドミントンのいずれかを実施）					
② 運動会への参加・協力（PTA 種目(綱引き)の参加、駐車場整理等）					
③ 講習会・講座（AED・救命講習会、思春期講座、防災講座等の開催又は協力）					
※特徴的な取り組み					
地区生涯学習推進会と合同で実施、小・中合同でフリースロー大会実施、インディアカ・ナイトリーグ開催等					
【テーマ内容協議】					
1 親睦球技大会の参加者募集方法等について					
・球技大会の参加者募集に苦慮している（部員への参加強制等）					
・学校ごと参加者（役員、教員、保護者、生徒）が異なるため、募集の方法も異なる（意見交換実施）					
・生徒が参加する場合には、実施競技を体育の授業に取り入れてもらい生徒の興味を引く等の工夫					
・教員の参加については、働き方改革の問題もあり、学校側も苦慮している					
2 役員の引継ぎ（申送り）について					
・役員 1 年目から部長（くじ引きにて決定）となり、引継ぎもなく、実施事業の流れも分からない					
・1 年目は副部長、2 年目に部長となるため、流れは分かる（特に苦慮していない）					
・資料等の引継ぎがなく困る、USB によるデータでの引継ぎあり等					
・役員は数年で交代するため、学校（担当教員）と役員の連携は重要、教員の協力が必要等					
・引継ぎがない学校も、今年度の部長が引継ぎ資料を作成し、申し送りをする流れを作ったかどうか					

【その他】

運動会での駐車場整理について

- ・学校の駐車場は許可車両のみ駐車可としているため、役員が駐車場係として対応している
- ・学校は駐車不可としているため、周辺の商業施設に駐車しないよう、役員を配置（看板設置等）
- ・駐車場に関する問題・苦情等はあると思うが、役員間の申し送りがされず、情報共有ができていない

【まとめ】

各校、活発に発言していただき、有意義な情報交換ができました。

役員の引継ぎの問題点については、各年度の部長の対応によるところが大きいと感じました。また、体育保健部に限らず、役員の選出方法等（くじ引き・役員任期等）の見直しの必要性も感じました。

各学校、助言者（田子浦中／稲垣先生）から、今後の活動に役立つ話を伺うことができましたので、研修会の協議内容を各学校にフィードバックしていただき、各事業に活かして欲しいと思います。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年6月23日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	13 名
部会名	環境整備部 小学校の部A		助言者	松永正之校長	
司会者	渡邊稔夫		記録者	榊原啓介	
テーマ ・奉仕作業について ・古紙回収について					
会議概要 ・奉仕作業について					
各学校、年に1～2回行っているところが多い。各学校にて行う時期は様々だが、運動会前に行っているところが多い。					
土・日曜日に行っているところが多いが、授業参観の後に行い、保護者の参加率が上がっている学校もある。参加率は各学校によって大きく異なっているが、前日から学校に行き準備の作業をしたり、清掃に使用する物品を準備したりと、PTA専門部役員の負担が多いところが問題となっている学校もある。					
また、物品準備に際し、物品の購入を先に立て替えしている。一時的とはいえ、金額も大きく、負担が大きいとの意見も聞かれていた。					
清掃場所も各学校で分かれ、各地区ごとで振り分けたり、各学年にて振り分けたりするところもある。					
→作業効率を上げるには…					
男手があると、作業が進みやすい。力を借りられるとの意見が多い。また、作業前に学校に重点的に清掃等を行ってもらいたいところを確認して、効率よく行うことも良いのではとの意見も聞かれた。					
・古紙回収について					
古紙回収日が決まっており、その日に行っているが、保護者の負担が大きいとの意見がある。					
地区、子供会の協力が得られていると作業が助かるとの意見が聞かれるが、学校保護者にて行っており、負担が大きいとの意見も聞かれた。					
回収ボックスを設置しているところも増えてきているが、コンテナ等の回収ボックスの管理をどの様に行っていくか、検討課題として挙げられている学校もある。（火事等の危険性・地域の人が回収ボックスを					

使用したいが、防犯の観点から、学校への入ることは大丈夫か・防犯カメラを設置した方が良いか・

回収ボックスの中身の回収は業者に依頼するのか等。)

まとめ

様々な意見が聞かれたが、学校の規模（児童の数など）、地域の方の協力の有無などもあり、各学校単位で、特性にあったやり方を検討していくことが大事ではないかと感じた。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	17 名
部会名	環境整備部（小 B）		助言者	若尾 宗吾（吉原一中）	
司会者	江口 秀明（富士川一小）		記録者	茅原 由美（田子浦小）	
テーマ ①奉仕作業について ②古紙回収について					
会議概要					
①奉仕作業について					
知りたい情報・・・奉仕作業の人の集め方、奉仕作業の内容について、					
来年度からクリーンセンター持ち込みができない件について（今一番の悩み）					
<u>参加者の集め方</u> ・PTA 役員だけの学校もある ・地区で 1 回目、2 回目の割り振り ・アンケートで 1 回目、2 回目どちらかには出してもらうように呼びかけ ・回数関係なく全体に呼びかけ ・子供会で呼びかけ 地域・学校により集め方にも違いがみられました。					
<u>奉仕作業の内容</u> ・保護者の安全面などもあり、草取りなど低いところのみになってしまう ・近所の人が枝打ちなどまでしてくれる ・大きな木等は業者さんをお願い ・万が一の事故の時はどうする？→安全面を考えての作業になる					
<u>クリーンセンターについて</u> 来年からどうする?? ・業者に頼んでやっているところもある。（3 万～5 万くらい目安） ・PTA 会長の知り合いの土地、山に持っていく学校も ・小分けでごみの日に出す ・粉砕機で粉々にし、プールの木の下にまいたこともある 各学校来年度からの様子がわからないので、現時点での一番の問題点となっています。					
②古紙回収について					
知りたい情報・・・収益をあげるには、参加人数を増やすには、雨天時の連絡方法					
（どちらかという古紙回収についてはどの学校もそんなに困っていない）					

やり方・参加人数・収益をあげるには・・・について

- ・基本1日でやる
- ・プールを開放して1週間くらいかけて集める
- ・地区で集める
- ・古紙回収をやっていない学校もある
- ・年3回やっていたが古紙回収BOXを設置し、そのみにした
(古紙回収の時は7万くらい、回収BOXのみで10万くらい)
- ・業者によって買い取り額が違う？

古紙回収BOXについて

- ・現時点ではまだ設置してある学校は少ない
- ・BOXの管理も大変
- ・放火や窃盗など気を付けなくてはならない
- ・立地条件にもより違うと思う
- ・買い取り額が設置と持ち込みでだいぶ違う

当日の運営・その他

- ・基本雨でも決行
- ・古紙回収の収益で買った備品は、PTA会員じゃない子供は使えないのか？といわれたことがある
→学校からとしては、そんなことはない、差別はできないとのこと
- ・トラックを出してくれた人へのお礼
ガソリン代をお礼していたことも。基本は保護者のボランティア
学校により違う。

全体まとめ

環境整備部の必要性

学校の美化という点で、奉仕作業ははずせない。

古紙回収は、雑誌や新聞を読まなくなっている時代でもあるので、
その学校や地域性により、BOX設置のみにするなどなくしてしまってもいいのではないか。

PTA会費以外に環境整備代として費用を徴収している学校もある。

PTA役員だけでなく、PTA会員の意識を上げていきたい。

各学校により、やり方等様々でした。色んな意見交換ができ、有意義な時間となりました。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	19 名
部会名	環境整備部(中)		助言者	竹内 勉（吉原三中）	
司会者	真田 明子（吉原三中）		記録者	松山 義之（鷹岡中）	
テーマ ① 奉仕活動で出るゴミ処理方法。 ② 奉仕活動でのケガや熱中症対策。 ③古紙回収（廃品回収）					
会議概要 ① 16 校中 7 校が奉仕活動で出たゴミを業者に頼んでいる。（有償）学校側が手配。 吉原二・吉原三・吉原東・大淵・鷹岡・富士南は役員でトラックを出せる方を募集し クリーンセンターへ運ぶ。トラックはなかなか集まらない。何回も往復。 吉原一中では学校内で枝の処分。機械をレンタルして業者オペレーターがチップ状にする。学校内にばら撒けば自然にかえる。 須津・富士川第一は学校内に業者のコンテナ×2 を設置。なんでも入れて良い。（有償） 元吉原は一昨年までは各ブロックの持ち回り。昨年から学区にリサイクル系の会社ができ回収してくれる。 作業時間は 1 時間～ 2 時間程度。 夏休みに作業する学校が多く、メインは草刈。（学生たち） 高い木の枝の伐採はやらず、届く範囲の枝は伐採する。（大人） 16 校中 13 校は年 1 回だが 3 校は年 2 回作業がある。 鷹岡では外部団体を呼び、奉仕作業の協力をしてもらっている。 ② 熱中症対策で大淵ではペットボトルを用意。鷹岡は去年は用意したが今年は無し。 富士中・吉原一はウォーターサーバーを用意。 元吉原もサーバーを用意していたが、遠くで作業してる人は飲みこない。 各部員は基本的監督で作業はしない。見回りや声掛けを行っている。					

③ アルミ缶回収 16 校中 2 校は生徒会が行っている。

洗ってあってもやはり異臭がする。

古紙よりもアルミ缶の方が値段が良いため古紙回収やってない所もある。

須津では学校に古紙回収ボックスを設置。シャッタータイプなので防火面も安心。田子でも進めている。

令和元年度富士市 P T A 副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校		参加者数	14 名
部会名	生活指導部（小 A）			助言者	若田 泰一（原田小）	
司会者	望月 拓人（原田小）			記録者	金子 佳久（丘小）	
テーマ						
・役員選出について（選出方法等）						
・登下校時の子供の安全確保（旗振り、パトロール、かけこみ 110 番等）について						
会議概要						
富士川第一小学校（選出方法：くじ引き）						
・旗振りは 8 か所を毎日実施。一年間で 4 回/世帯。（越境もあり）						
・						
富士川第二小学校（選出方法：くじ引き）						
・旗振りは 1 0 か所程度。毎日及び 3 回/週実施。						
田子浦小学校（選出方法：くじ引き：4 年役で副会長まで）						
・旗振り自体を PTA が行わない。子供の安全運動は地域で行っている。						
岩松小学校（選出方法：地区ごとのローカルルール 2 年役）						
・旗振りは子供会と共同する。2 回/週を 3 か所で実施。						
鷹岡小学校（選出方法：立候補選出後 3 年役）						
・旗振りは毎月 1 日と 1 5 日に実施。各世帯 2 回/年。						
広見小学校（選出方法：あみだくじ。ローカルルール 子供会に入っていない人は PTA を 2 年任期）						
・旗振りは新年度に入ってから 2 か月間は毎日実施。5 月以降は 1 回/週の実施。						
・全体的には常時集団登下校を行なっている。						

丘小学校（選出方法：役割が地区割されているが一部ローカルルールが存在する。基本的には押し付け合いが、最終的にはくじ引き。地域によって、低学年はPTA、高学年は子供会の役割となっている。）
・旗振りは2回/月。交通安全週間には回数を増やし実施。
富士南小学校（選出方法：4年生時点で5、6年の理事を立候補で決定。働いているお母さんが子供会を避けるためにPTAを選択することもある。子供会とのパワーバランスも影響する。）
・旗振りはエリアによっては旗振りを行わない。
天間小学校（選出方法：3年生の立候補。PTA三役を抽選）
・旗振りは学校全体で行う。
岩松北小学校（選出方法：一本釣。2年任期。代理を連れてきて引退。）
・旗振りはなんとなく行われている。
富士中央小学校（選出方法：立候補。3年役。3年生保護者対象にくじ引きだが、くじ引きは行ったことがない。）
・旗振りは9か所を10地区で行う。全員が対象で最低1回/年は行っている。春、夏、冬で行うが地区で日程の調整を行っている。交通安全運動期間中は役員が実施。
富士川第一小学校（選出方法：本部は2年役。部員は1年役で6年生が担当する。基本立候補&くじ引き）
・旗振りは春休み、夏休み、冬休みの休み明けの5日間を実施する。1回程度。
富士川第二小学校（選出方法：くじ引きの1年役から立候補の2年役。地区ごとのルールで決定。）
・旗振りは家庭教育部が設営。1回年の割合。地域のボランティアが協力していただいている。
・まとめ
【役員の選出方法について】
各学校単位で違うが、基本的に積極的な参加は少ない。また、複数年の選出が主流となっている。一方で、子ども会との関係で、負担の少ないPTAを優先し、PTA活動に参加する地域もある様だ。
【旗振りについて】
子供の安全確保を地域で行なっていてPTA主体で行なわない地域がある一方で、毎日実施するなど地域差は非常に大きい。また、集団登下校を実施する学校もあり、非常に参考になった。
【パトロール、かけこみ110番等について】
時間切れにより詳細な話し合いが出来なかった。

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年6月23日（日）	会場	吉原第一中学校	参加者数	14名
部会名	生活指導部（小B）	助言者	太田 和哉（吉永一小）	
司会者	工藤 るみ子（吉永一小）	記録者	小池 義治（富士中央小）	
テーマ 子供の登下校時の交通安全や見守りについて、かけこみ110番の家について				
会議概要				
●子供の登下校時の交通安全や見守りについて				
課題：通学路の危険個所がなかなか改善されない				
→ 町内会と連携して要望書をあげていってはどうか				
→ 部員が中心となって危険個所を冊子にまとめている				
課題：旗振りの場所について現状で良いのか疑問				
→ 町内の人数等に応じ、負担を平等にする工夫をして見直しを行っていく				
→ 見守り活動に参加できない家庭の事情も考慮する				
課題：外国籍の家庭への連絡方法				
→ 案内の英語バージョンを作成している				
課題：交通指導員と旗振りを巡ってトラブルになる				
→ 横断歩道を渡るときに、旗で車を止めるか否か共通認識が必要				
→ 大人が常に旗で車を止めていると、子供がひとりで渡ることを学ぶことができない				
→ 旗を使わずに、子供が自主的に交通ルールを学べる指導方法も検討				

●かけこみ 110 番の家について

課題：かけこみ 110 番の拡大と周知がうまくいっていない

- 1 年に 1 度、避難訓練の一斉下校の時に、かけこみ 110 番の家に子供とともに挨拶に行く
- 交通指導員や地域の方と連携する
- ふれあい協力員に頼んで、新規開拓する

課題：個人情報の管理が厳しくなり、保護者の連絡先が分からない

- 新入学児童の説明会の時に、学校とは別に PTA として名簿を作成する

令和元年度富士市 P T A 副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校		参加者数	15	名
部会名	生活指導部（中）			助言者	前原 一徳（富士川一中）		
司会者	嶋崎 泰久（富士川一中）			記録者	植松 弘毅（岩松中）		
テーマ 各中学校の生活指導部における活動の紹介と問題点							
会議概要							
各中学校から自己紹介と各校での生活指導部の活動内容の紹介があった。							
行っている、行っていない、の違いは各校ごとにあったが、平準化すると以下の活動が主に行われていた。							
＊朝の挨拶運動 学校により回数の違いが大きかった。ほぼ毎週行っている学校も、年に数回の学校もあった。特に挨拶に生徒とのハイタッチを行っている学校もあった。							
＊運動会の構内警備 校内の巡回警備を生活指導部員で行っている。							
＊各地区の祭り補導 各校区内で行われる祭りでの巡回補導を行っている。							
＊生活指導を主題とした講演会、勉強会を行っている。							
＊夏休み巡回補導 夏休みの夜間等に巡回補導を行っている。							
上記のような活動が行われているが、問題点として以下のようなことが提起された。							
＊夜間の補導やパトロールを行っても指導対象の生徒がいない。							
＊活動の回数が多すぎて部員・役員の負担が大きくなっている。							
＊IT 教育等でネットリテラシーやネットの危険性の教育・指導をおこなっていきたい。							
以上ですが、別件として役員の選出方法(学校ごとに相違はある)についての不公平感が大きいとの意見が多数あった、1 本釣り方式(現役員が声かけして次年度役員をお願いする)に比べ、くじ引き方式での役員、部員決めは嫌々活動をしなければならないため負担も大きく感ずる、との意見が多く聞かれました。活動での負担の軽減化などを図らないと富士市の PTA も担い手が少なくなり活動が難しくなるのではないかと考えられます。							

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	1 4 名
部会名	家庭教育委員会（小 A）		助言者	吉野 和美（元吉原小）	
司会者	泉 ゆみえ（元吉原小）		記録者	牧田 ゆう子（富士中）	
テーマ ・給食試食会について ・コサージュづくりについて ・役員選出について					
会議概要					
自己紹介と各学校の給食試食会の実施状況（参加人数、費用、費用徴収方法など）を報告					
参加人数、費用、費用徴収方法など各学校異なる。					
参加人数が集まらず、困っている学校がある反面、参加人数が 6 0 人ほどの学校もある。					
案内のちらしに工夫をしてみる、下の子を連れてでも参加できる環境が必要など意見。					
コサージュ作り					
人が集まらない、作成の負担が役員にかかっているなど意見があり。					
助言者よりメニューの関係は早めに栄養士などと相談して決める必要があること、人が集まらないのは働く方が増えている。なぜ行うのかということを見直していくことが必要。					
役員選出					
役員選出する際に苦勞する。選出する際に、どういふことをやるのか説明することが必要。					
子ども会に入っていない人が増加しており、役員選出するのが大変。					
助言者より、役員のメリットを伝えることが必要、困っていることがあれば学校に伝える。					
子どものために必要なものか見直す。					

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

令和元年6月23日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	14 名
部会名	家庭教育委員会(小B)		助言者	川崎 里恵（青葉台小）	
司会者	渡辺 悦久（青葉台小）		記録者	米田 貴彦（元吉原中）	
テーマ コサージュ作り・家庭教育委員会の活動内容について					
会議概要 ・コサージュ作りについて 各校で製作過程が異なり、保護者によって製作しているのが参加14校中4校で業者に製作依頼をしているのが10校でした。 保護者によって製作されている学校は、コサージュの手作りキット(350円程度)を購入し一人一人が製作を行っていたり、家庭教育委員が作り方の指導を受けて、それを作成時に保護者に教えるという方法があるそうです。作成日時については、参観日等の保護者が集まる時に実施しています。 学校によっては、コサージュに集合写真を添えて卒業生に渡しているという意見もありました。 業者に製作依頼をしている学校については、インターネットで購入していて、購入時期については、夏頃がスムーズに事が進むそうです。 コサージュの色・大きさは各校で違うが、基本的には派手過ぎず、目立ち過ぎず、主役(卒業生)を引き立たせる物に仕上がっているようです。 手作りキット製作では、それぞれ良し悪しがあります。 ・家庭教育委員会の活動内容について 給食試食会は平日の昼間に行うことが多く、参加人数の確保が難しく当日のメニュー次第で人数の増減があるので、あえて参観日等に日にちを合わせて少しでも多くの参加者を集めようとしています。					

令和元年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

令和元年 6 月 2 3 日（日）		会場	吉原第一中学校	参加者数	20 名
部会名	家庭教育委員会（中）		助言者	檜木 小重美（吉原東中）	
司会者	鈴木 浩之輔（吉原東中）		記録者	望月 佳乃（富士川二中）	
テーマ ①コサージュ作りについて ②バザーについて ③SNS について					
会議概要					
鷹中・コサージュはキットを購入し生徒が作る。4 月に制服を回収し 1 0 月バザーに出す					
富士川一中・一小 1 1 月フェスタの時に制服を販売 値段 5 0 0 円～8 0 0 円程 この売上をコサージュの材料費にする					
岩松中・ 1 1 月中旬バザーの時ボックスを置く					
大淵中・コサージュはキットを購入。文化発表会の時にマドレーヌを作り 5 個入り 3 0 0 円で販売 完売するという盛況ぶり					
富士中・コサージュはキットを購入					
富士川二中・コサージュはキットを購入・フェスタ奉仕作業の後に制服他三回集めるも 0					
田子中・コサージュ作りについては、学校で流れ作業をしていたが、作ったものに差が出てしまうため、フラワーアレンジメントの先生に一括をお願いしている。3 8 0 円					
吉原二中・コサージュは外注に発注。箱付きで 3 5 0 円。バザーはなし					
吉原三中・5 年に一度、長野と交流会がある。3 0 名程					
吉原東中・給食試食会の参加人数が少ない。食育推進 2 0 分の栄養士の話					
岳陽中・携帯については親子共同で使用している。ラインは基本見ないが、変な文章が見えた時には、注意するようにしている。					
スマホやラインについて、助言者に意見を求める。					
・危機意識が低いこと・年齢的に中学一年生のトラブルが多い・位置情報オンにしたまま、撮った写真そ SNS にあげてしまうと場所などが特定されてしまう。					
・課金についてもいろいろあり、ゲーム課金はもちろんバイク改造などの課金、男性に課金など様々なものがあり、追いついていかない状態。					